

研究課題名：	胆道良性疾患に対する外科治療急性期の後方視的検討
所属(診療科等)：	公立昭和病院 消化器外科
研究責任者(職名)：	秦正二郎（副部長）
研究期間：	2023 年 10 月 23 日～2028 年 3 月 31 日
研究目的と意義：	胆道良性疾患（急性胆嚢炎、胆管炎）は急性腹症の代表的な疾患であり、特に胆嚢炎に対する胆嚢摘出術は当院にて年間約 150 例前後を実施している。急性胆嚢炎は重症度分類によって治療アプローチと経過が異なり、特に高齢者の重症例では集中治療が必要となる場合も多く、的確な手術適応の判断と、細心の周術期管理が必要である。当院の治療成績から治療短期成績を向上させる因子を特定し、今後介入可能な因子を明らかにする。
研究内容：	●対象となる患者さん 胆道良性疾患（急性胆嚢炎・胆管炎）の緊急治療、または待機的治療を行った 18 歳以上の患者さん ●利用するカルテ情報 診断名、身体所見、検査結果、手術記録、術後治療についての記録等 ●研究方法 対象期間中に当院に通院している、胆道良性疾患（急性胆嚢炎・胆管炎）の治療を行った患者さんの受診時、または治療経過中のデータについて後ろ向きに検討を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院
問い合わせ先：	【研究担当者】 氏名：小林祐太、秦正二郎、林善仁（消化器外科医師） 住所：小平市花小金井 8 丁目 1 番 1 号 電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912 【ご意見・相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 総務課 042（461）0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）